



反-貧困

ANTI-POVERTY CAMPAIGN

反貧困の願いを背景に実現した政権交代ですが、その後の政治の動向はどうでしょうか。わが国の雇用・労働、社会保障をめぐる問題は相変わらず深刻です。それでも、反貧困を掲げた動きが全国各地で広がっています。

千葉県野田市を皮切りにじまった「**公契約条例**」がその象徴です。公契約条例とは、公共事業や民間委託などで、官によってつくりだされてきたワーキングプアの解消を目指し、労働環境の整備を図るものです。その後、神奈川県川崎市・相模原市、東京都多摩市でも成立しました。そして、いま札幌市もその制定を目指しています。

この集会では、政権交代後の政治動向をふまえて、札幌市における公契約条例の意義や役割について学びます。公契約条例にかける上田市長の熱い思いを聞き、貧困問題の解決のためいま私たちに何ができるのか考えていきます。

公契約条例でなくそう

官製ワーキングプア集会

みんな目指そう！ 全国第5番目の 公契約条例の制定！



上田文雄

札幌で、
いまなぜ
公契約条例が
必要なのか？(仮)

(札幌市長)

生活第一の行方 —
民主党政権の
政策を検証する

(北大教授／当会代表)



山口一郎

1月26日(木)

日時 18時30分～

札幌エルプラザ 3階ホール
(札幌市北区北8条西3丁目)

参加費 会員500円／非会員700円

※当日の入会も受け付けております。(サポート会員年会費・1000円)

申し込み
不要

主催：反貧困ネット北海道 後援：建設政策研究所北海道センター

反貧困ネット北海道 〒064-0808 札幌市中央区南8条西2丁目 市民活動プラザ星園 305号

Tel/Fax. 011 (533) 3778 Email: hanhinkondo@yahoo.co.jp

反貧困ネット北海道

検索